

決裁区分	部長	課長	課長代理	担当	起案	分類	0・2・4
丙	栗原	志村	志村	久保谷	石原	起案	27・4・30
						決裁	27・4・30
						施行	・

## 秦野市公共施設再配置計画推進会議開催結果

会議名	□ 平成 年度 第 回 本部会		
	■ 平成 27 年度 第 1 回 公共施設使用料見直し プロジェクトチーム		
	■ 平成 27 年度 第 2 回 公共施設使用料見直し ワーキンググループ		
開催日時	平成 27 年 4 月 30 日 (木) 午前 10 時 0 分 ~ 午前 10 時 45 分		
開催場所	議会第 1 会議室		
出席者	福祉部長	教育部長	
	文化会館長	人権推進課長	くらし安全課長
	地域福祉課長	高齢介護課長	こども育成課長
	健康づくり課長	スポーツ振興課長	環境保全課長
	森林づくり課長	農産課長	産業政策課長
	生涯学習課長	図書館館長代理(庶務奉仕担当)	観光課主事(観光振興担当)
	政策部長(チームリーダー)	公共施設再配置推進課長(グループリーダー)	
	事務局	公共施設再配置推進課主査	
議 題	1 公共施設の利用者負担の適正化に向けた実証実験について		
	2 その他		
配付資料	資料 公共施設の利用者負担の適正化に向けた実証実験について (案)		
<b>会 議 結 果</b>			
① 利用者負担の適正化にあたっては、使用料の見直しの方向性だけでなく、負担軽減や利便性向上に関する方向性も定めている。しかし、財政面や施設管理上に与える影響を事前に把握する必要があることから、実証実験として先行して無料化及び一般開放を行い、影響を把握したい。			
② 実施期間を統一した方が利用者に分かりやすいと思うがどうか。 ⇒ スポーツ施設、公民館とも特に支障がないようなので、期間は統一する。			
③ 総合体育館の共用利用は5施設あるが、基本的にはサブアリーナである。			
④ 中央運動公園プールを無料化した場合の人数把握はどのようにしたら良いか。また、開設期間中(年間)利用券の販売はどうするのか。 ⇒ 人数把握(市内・市外の別も)は必要であることから、現場の事務手間にならない方法を事務局でも検討したい。年間利用券は今年度は販売しないということで良いのではないか。			
⑤ コインロッカーは無料化しないということか。 ⇒ 現在でも実質無料(コイン返却式)であり、運用の変更はない。			
⑥ おおね公園プールのポイントカード(10回利用すると1回無料になる制度)はこの期間は実施しないということで良いか。 ⇒ 無料となった子どもに対するポイントは付けないということで良い。			
⑥ 市外(広域利用の協定以外)の子どもが有料であると、「市のイメージ向上」につながらない可能性がある。「市のイメージ向上」はどのように把握するか。 ⇒ 市外の子どもの対応については、財政面に与える影響を考慮し、検討する。また、「市のイメージ」の把握方法は現時点では未定。今後議論したい。			
⑦ 「管理運営上の中止」について、当日のみか。 ⇒ その施設については、それ以降の期間はすべて中止という考えである。			

- ⑧ 「管理運営上の中止」について、利用者を混乱させるので、中止を前提とせずに、ある程度、問題点や影響を把握しながら実施すべき。  
 ⇒ 資料では最悪の場合という想定で記載している。当然のことながら、問題が発生したからといって即中止という判断になるわけではないが、利用者にどのように事前周知できるか今後考えたい。
- ⑨ 無料化は「減免」規定によって実施するとのことだが、規則の改正があるか。  
 ⇒ 各施設の設置条例施行規則の一部改正で実施するが、改正案を事務局で作成するなどして、できるだけ施設所管課の事務は煩わせない予定である。
- ⑩ 新規開放施設の使用料を徴収する根拠はどこにあるか。また、納付の方法はどのように想定しているか。  
 ⇒ 「秦野市行政財産の目的外使用に係る使用料に関する条例」により徴収し、原則は建物の財産台帳価額の7%、減免率は市長が別に定めることとなっている。徴収根拠等、必要な情報の整理は事務局で行う。納付は、現在、公民館等に設置する券売機で発券される施設利用券の活用も考えている。(⇒後注：現時点で券売機の運用は難しい)
- ⑪ 新規開放施設について、子どもの利用も同額ということで良いか。学校開放などの無料化の検討はないのか。  
 ⇒ 今回の実験は、方針にある「共用利用を無料に、専用利用を2分の1の額に」という基準により実施するものであり、無料化するのには共用(個人)利用を対象としている。新規開放施設の専用利用について、今回の実験では子どもが含まれるかどうかに関わらず一律とするが、今後、子どもの専用利用について実態を踏まえる必要があると考える。
- ⑫ 今回は子どもを対象とした実験だが、高齢者や障害者への配慮はどのようなか。  
 ⇒ 今後の本格実施にあたっては、議論していきたい。

備考	
----	--